印刷イメージを確認する(プレビュー)

プレビュー機能を使う

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

2 プレビュー を押す



印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- プレビュー中に あ・ア・A 、変換 スペース 、← ↑ ↓ → のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは 削除 取消 または 選択 改行 を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

注意

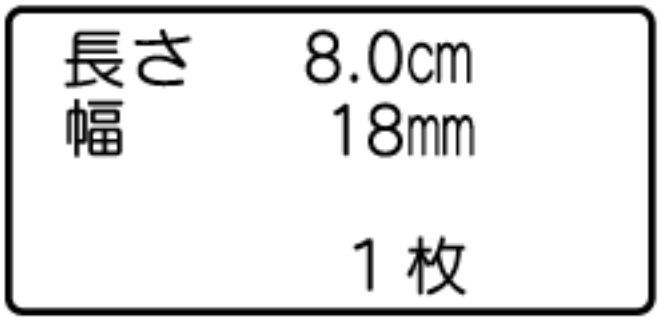
- プレビューが表示されるのは、テキスト画面またはフォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」と表示され、プレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」または「テープ幅不足」と表示され、プレビューは表示されません。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

印刷する

ラベルを印刷する

専用のACアダプタまたは電池が正しく取り付けられているかを確認してください。

1 印刷 を押す

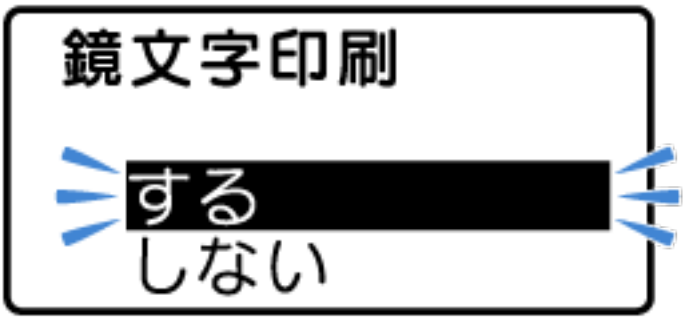


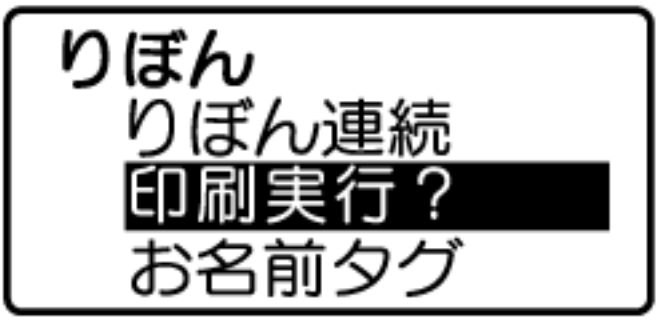
「準備中」と表示されたあと、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます(一部テープを除く)。

「環境設定」で「おすすめ印刷」を表示するに設定している場合は、一部テープで、「鏡文字印刷」または「りぼん」専用のメニューが表示されます。

参照 「おすすめ印刷を設定する」





MEMO

- 印刷を途中でやめるときは 削除 取消 を押してください。
- テープが終了するなどで印刷が中断されたときは、印刷再開メニューが表示されます。
- 印刷中に ON/OFF を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 特殊印刷(連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピッとコード印刷)をおこなう場合は、特殊印刷 を押します。

参照 「特殊印刷」

・りぼん印刷(りぼん連続印刷、お名前タグ印刷)をおこなう場合は、シフト を押しながら 特殊印刷 (＝りぼん印刷)を押します。

参照 「りぼん印刷」

・ハーフカットをするときや、テープ排出時などに動作音がしますが、異常ではありません。

・定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除して印刷を強行します。

注意

・耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんなどは印刷後に自動カットがおこなわれません。印刷が終わった後、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

参照 「テープカートリッジを使いわける」

・耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼんなどはハーフカットがおこなわれません。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

・ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。

・テープ出口には指を入れないでください。

・印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。

・仮確定文字、点滅文字は印刷されません。

・テープが終了したままでは印刷できません。新しいテープに交換したあとで、印刷再開メニューから印刷を再開してください。

参照 「同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)」－「印刷中にテープが終了したら(印刷再開機能)」

・印刷中には上カバーを開けないでください。印刷中に上カバーを開けると印刷が中断し、カバーを閉じたあとに印刷再開メニューが表示されます。

参照 「同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)」－「印刷中にテープが終了したら(印刷再開機能)」

・テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。

・テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し！」と表示され、印刷できません。

・行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。

・QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。

参照 「QRコードを入力する」

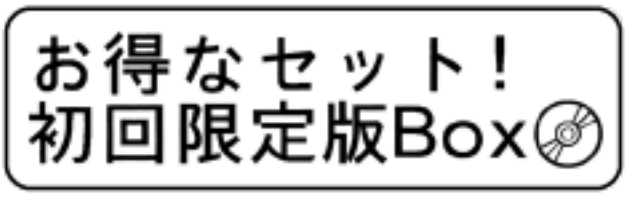
・印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。

・16mを超える印刷はできません。

カドを丸く仕上げる

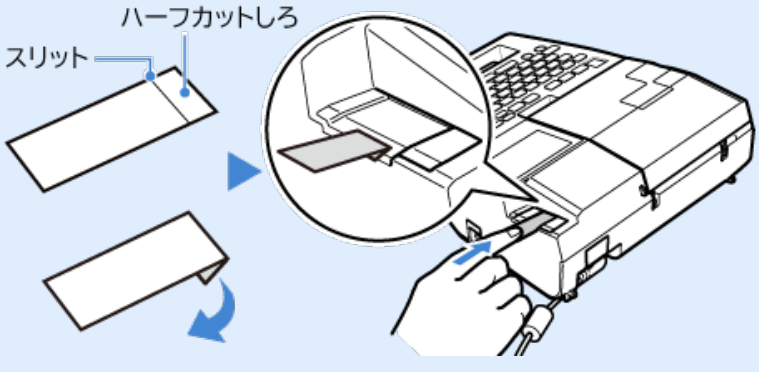
オートトリマーについて

ラベルをトリマー差し込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。



MEMO

・ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差し込み口に差し込んでください。



・ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

注意

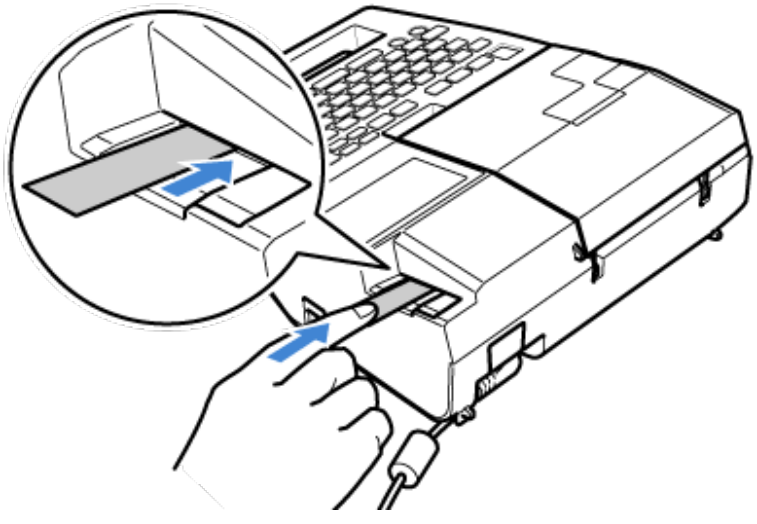
・印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
・ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
・ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
・オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
・トリマー差し込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
・4mm、6mm幅ラベル、耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼんはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。
参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」
・4mm、6mm幅ラベルは、別売のトリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
参照 ☞「別売品のご案内」

ラベルのカドを丸く仕上げる

9mm、12mm、18mm幅テープのとき

ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

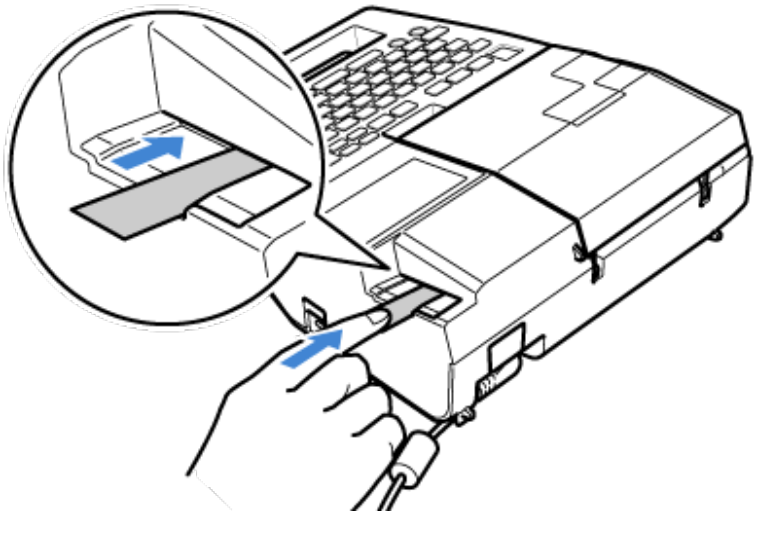
1 ラベルの片側をトリマー差し込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

カドが丸くカットされているか確認します。

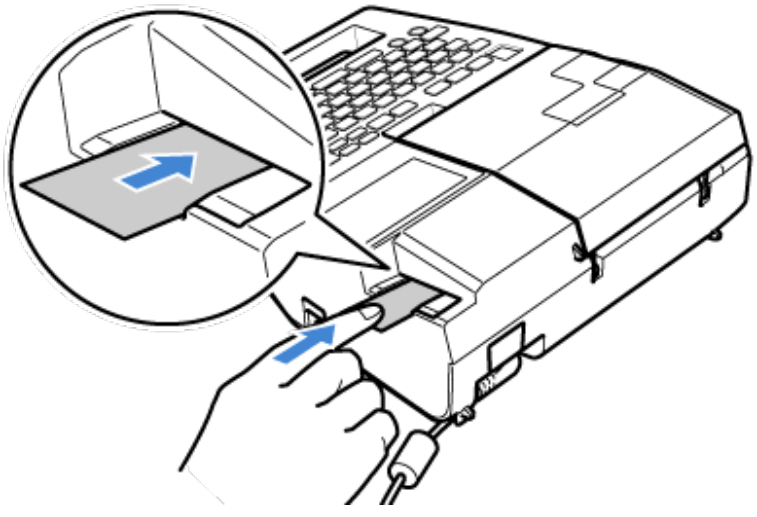
3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



24mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

1 ラベルの左右をトリマー差し込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



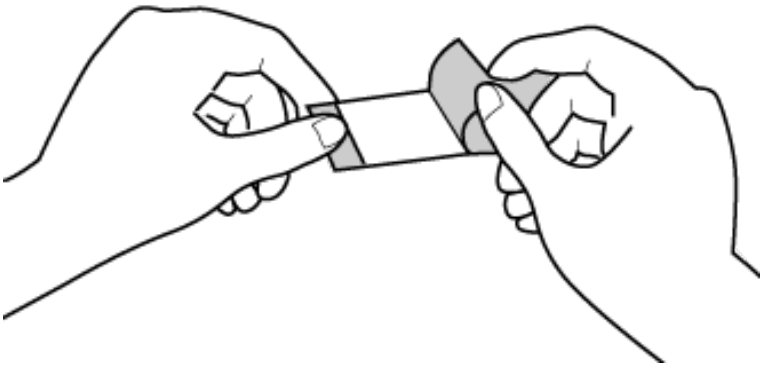
2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

ラベルを貼る

印刷したラベルを貼る

印刷したラベルの裏紙をはがして貼ります。

1 裏紙をはがす



ハーフカットが有効の場合、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

2 しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

・印刷したラベルのカドを丸くすることができます。
参照 ☞「カドを丸く仕上げる」
・「テプラ」PROテープカートリッジには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」
当社ホームページ（https://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

注意

・ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
・ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
・白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。

・凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
・ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
・ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
・雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
・人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
・「テプラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

特殊印刷

特殊印刷 を押すと、拡大印刷、連続印刷、鏡文字印刷、ピッとコード印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

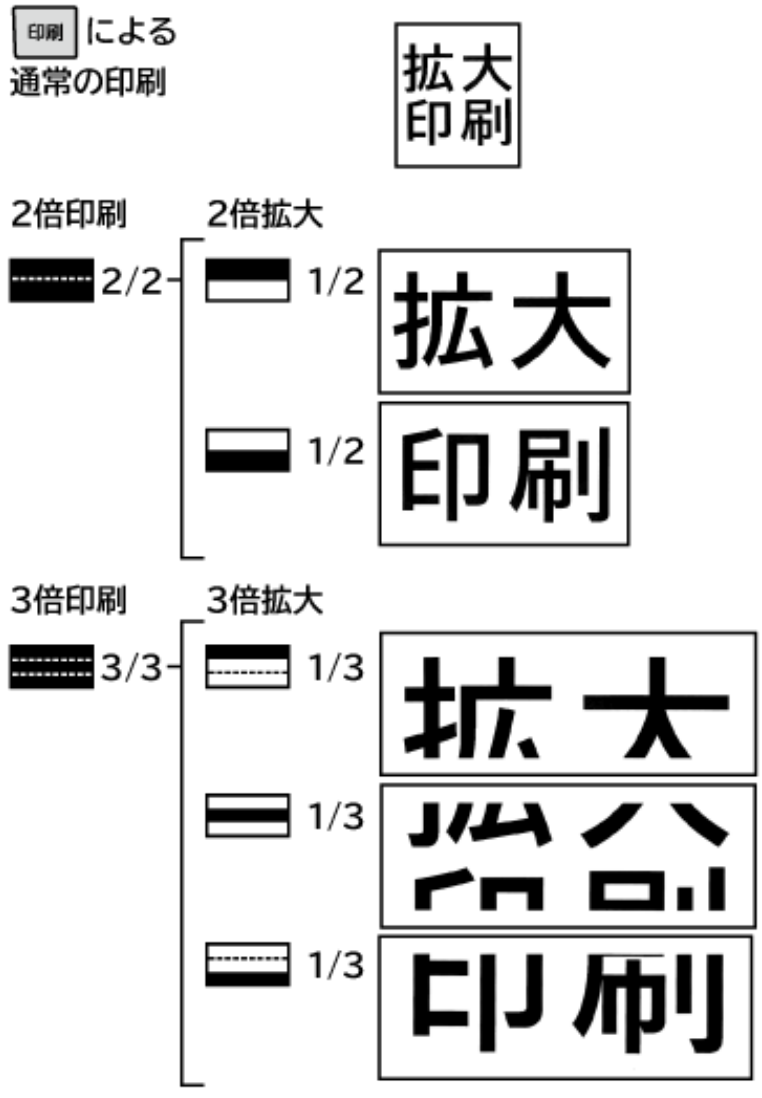
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷		
拡大印刷 ラベルを拡大して印刷します。	拡大印刷 ▶	しない
	2倍印刷 ▶	2/2 1/2 1/2
	3倍印刷 ▶	3/3 1/3 1/3 1/3 1/3
	4倍印刷 ▶	4/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4
	5倍印刷 ▶	5/5 1/5 1/5 1/5 1/5 1/5 1/5
	6倍印刷 ▶	6/6 1/6 1/6 1/6 1/6 1/6 1/6 1/6
連続印刷 同じラベルを連続して印刷します。	連続印刷 ▶	枚数指定 ▶ 止めるまで
		枚数入力
鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。	鏡文字印刷 ▶	する しない
ピッとコード 入力した文字や記号と一緒に二次元コード「ピッとコード」を印刷します。	ピッとコード ▶	する ▶ しない
		挿入位置 アイウ 前 アイウ 後
印刷実行？		

テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

印刷内容を2倍、3倍、4倍、5倍、6倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。
「2倍印刷」なら上下2枚で1組、「3倍印刷」なら上中下3枚で1組のラベルになります。
大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

拡大印刷の種類

サンプルは12mm幅のラベルです。
2倍、3倍と同様に4倍印刷は4枚、5倍印刷は5枚、6倍印刷は6枚のラベルの組み合わせになります。



画面に表示されるテープの長さ

画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍～6倍の長さのラベルが印刷されます。

例えば「3倍印刷」で印刷をおこなうと、印刷 による通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍印刷	約2倍	約2倍	約4倍
3倍印刷	約3倍	約3倍	約9倍
4倍印刷	約4倍	約4倍	約16倍
5倍印刷	約5倍	約5倍	約25倍
6倍印刷	約6倍	約6倍	約36倍

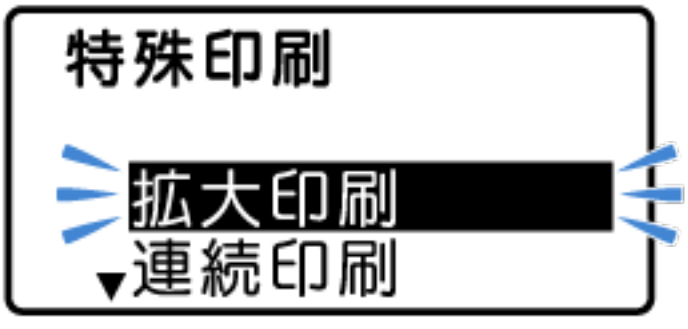
拡大して印刷をする

例:3倍に拡大して印刷をする

1 文章を入力し、特殊印刷 を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「拡大印刷」を選び、選択/改行 を押す



3 「3倍印刷」を選び、選択/改行 を押す

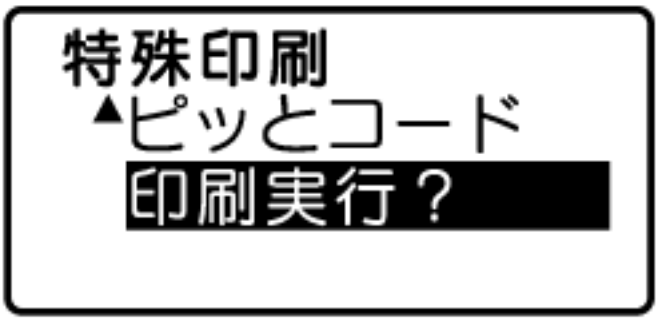


4 「3/3」を選び、選択/改行 を押す



「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

5 「印刷実行？」を選び、 選択 改行 を押す



3枚1組のラベルが印刷されます。

6 テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

注意

・特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・ビジネスフォームで作成したラベルは拡大印刷機能が表示されません。
・「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
・長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章を2組に分けるなど指定をしなおしてください。
・「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍～6倍にする機能です。そのため、定長を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍～6倍のラベルが印刷されます。

参考：カラフルな3倍印刷

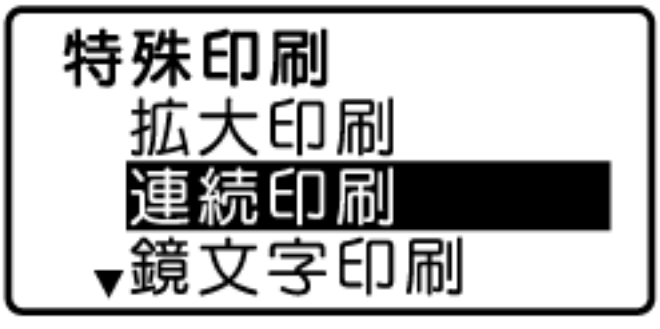
「3倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)

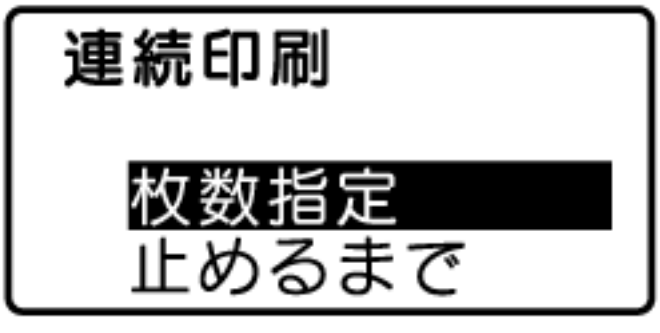
同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。
例:同じラベルを3枚連続して印刷する

1 文章を入力し、 特殊印刷 を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「連続印刷」を選び、 選択 改行 を押す



3 「枚数指定」を選び、 選択 改行 を押す



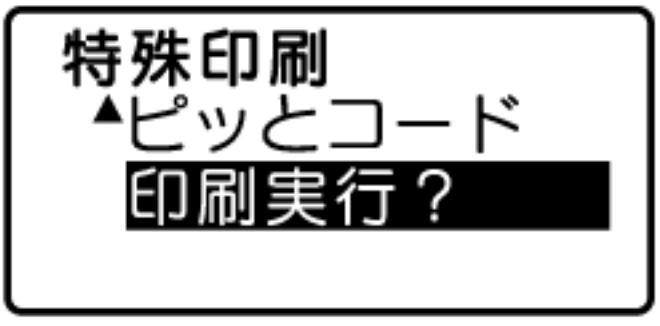
印刷枚数を指定する画面になります。
「止めるまで」を選択した場合は、「特殊印刷」メニューに戻ります(手順 5 へ)。

4 印刷枚数を入力し、 選択 改行 を押す



入力できる枚数は1～99枚です。
「特殊印刷」メニューに戻ります。

5 「印刷実行？」を選び、 選択 改行 を押す



印刷が開始されます。

1枚目の印刷が終了するとテープがカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

手順 3 で「止めるまで」を選択した場合は、必要な枚数を印刷したあと、いずれかのボタンを押して印刷を停止します。

注意

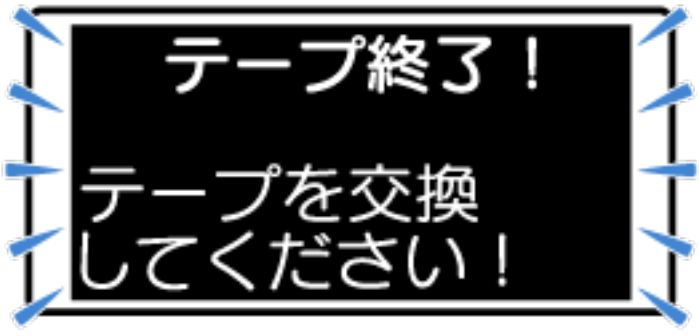
・特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。
・連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再度カットするおそれがあります。
・連続印刷中にテープが終了した場合は、正しく印刷されなかったラベルから再度印刷することができます。詳しくは「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」を参照してください。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
・指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
・ビジネスフォームでは、連続印刷できるのは20枚までです。
・連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。
例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
参照 ☞「連番を入力する」
・印刷中に画面で表示される印刷枚数は、実際の枚数よりも遅れて表示され、印刷終了時に、指定した枚数まで表示されない場合があります。

参考：印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）

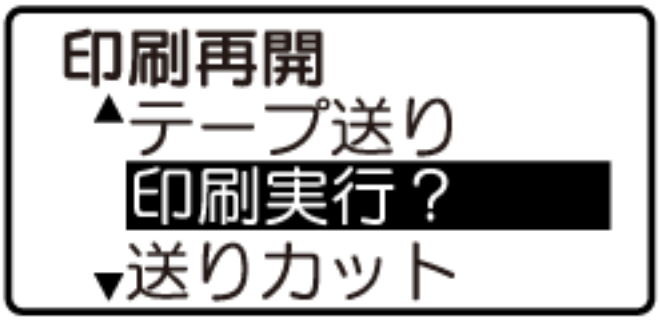
テープが終了するなどで印刷が中断されたときは、テープ終了エラーメッセージが表示されます。



1 新品のテープカートリッジをセットし、上カバーを閉じる

「印刷再開」メニューが表示されます。

2 印刷実行を選び、 選択/改行 を押す



正しく印刷されなかったラベルから再度印刷が始まります。

連続印刷の場合は、指定した枚数まで続けて印刷されます。

MEMO

・テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

・2 で 削除/取消 を押すと、印刷を再開せずにテキスト画面に戻ります。

注意

・印刷していたテープの種類や幅と、新しくセットしたテープの種類や幅が異なる場合は、印刷を再開することができません。エラーメッセージが表示されますので、同じ種類や幅のテープをセットしてください。

参照 ☞「エラーメッセージが表示されたときは」

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。
・鏡文字印刷：する（鏡像）



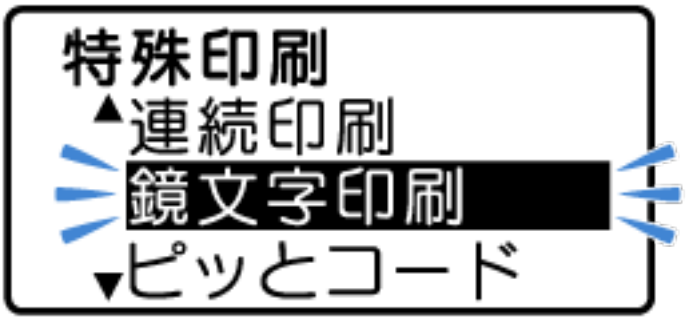
・鏡文字印刷：しない（正像）



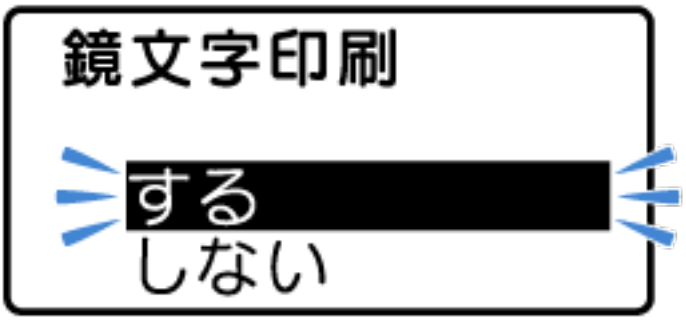
1 文章を入力し、 特殊印刷 を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「鏡文字印刷」を選び、 選択 改行 を押す

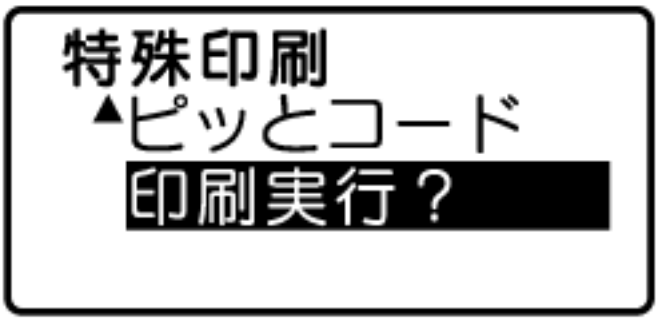


3 「する」を選び、 選択 改行 を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

4 「印刷実行？」を選び、 選択改行 を押す



鏡文字ラベルが印刷されます。

注意

・特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。
・アイロン転写テープ・転写テープは、印刷 を押したときに、鏡文字印刷のメニューを表示します。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・印刷を途中でやめるときは 削除 取消 を押してください。

ピッとコード印刷をする

入力した文字や記号と一緒に、二次元コード「ピッとコード」を印刷します。「ピッとコード」をiOSアプリで読み取ると、端末内でひも付けた写真や動画、メモなどを呼び出すことができます。

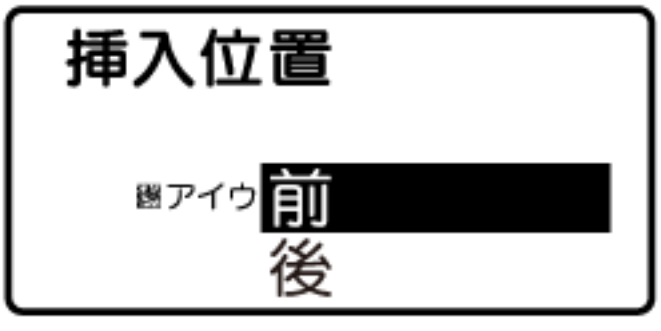


1 テキスト入力画面に文字や記号を入力し、 特殊印刷 を押す

2 ↑ ↓ で「ピッとコード」を選び、 選択 改行 を押す

3 「する」を選び、 選択 改行 を押す

4 「ピッとコード」の挿入位置を決める



↑ ↓ で、文字の前に入れるか、後ろに入れるかを選び、 選択 改行 を押します。

5 選択 改行 を押す

ラベルが印刷されます。

印刷するたびに異なる「ピッとコード」が印刷されます。

※それぞれの「ピッとコード」に、異なる写真や動画、テキストなどをひも付けることができます。

以降の手順は、iOSアプリ「ピッとコード」の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。
・4mm、6mm幅テープには印刷できません。
・印刷される「ピッとコード」のサイズは、文字サイズやセットしているテープ幅にかかわらず同じです。
・入力テキストがない場合は、「ピッとコード」の挿入位置は前後どちらを選んでもテープ中央に配置されます。
・ピッとコード印刷は毎回異なるコードを印刷します。印刷を途中でやめた場合も、次に印刷される「ピッとコード」は異なるコードとなります。
・一部テープでは「ピッとコード」をうまく読み取れない場合があります。
・編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。ただし定長、余白、地紋の設定はラベル全体に反映されます。

iOSアプリ「ピッとコード」について

「ピッとコード」の読み取りやデータ呼び出しには、iOSアプリ（無料）が必要となります。
※対応しているiOS端末など詳しくは当社ホームページ（https://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。
・iOSアプリ「ピッとコード」 https://kingjim.jp/pitcode/

りぼん印刷

シフト を押しながら 特殊印刷 (＝りぼん印刷)を押すと、りぼん連続印刷、お名前タグ印刷を指定できます。

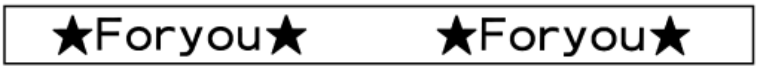
りぼん印刷メニュー一覧

 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
りぼん印刷			
りぼん連続 指定したラベルの長さに同じ文章を繰り返し印刷します。	りぼん連続 ▶	りぼんの長さ ▶ 5.0cm 5.5cm : 99cm	文章の間隔 ▶ 1.0cm 1.1cm : 99cm	印刷実行
お名前タグ 入力した文字や記号を、お名前タグ専用のフォームで印刷します。	お名前タグ ▶	印刷実行？	

指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷する（りぼん連続印刷）

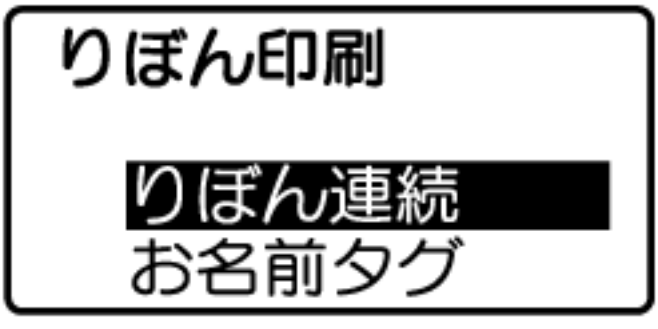
指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷します。



1 繰り返したい文章を入力し、 シフト を押しながら 特殊印刷 （＝りぼん印刷）を押す

「りぼん印刷」メニューが表示されます。

2 「りぼん連続」を選び、 選択 改行 を押す



3 「りぼんの長さ」を指定し、 選択 改行 を押す



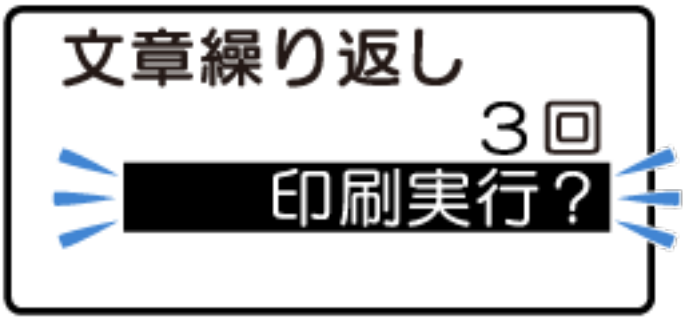
5.0cm～99cmの範囲で指定できます。長さは数字ボタンでも指定できます。

4 「文章の間隔」を指定し、 選択 改行 を押す



1.0cm～99cmの範囲で指定できます。長さは数字ボタンでも指定できます。

5 文章の繰り返し回数を確認し、 選択 改行 を押す



ラベルが印刷されます。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・指定するりぼんの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
・「りぼん連続」は、りぼん以外のテープでも使用できます。
・「カット設定」の設定にかかわらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。

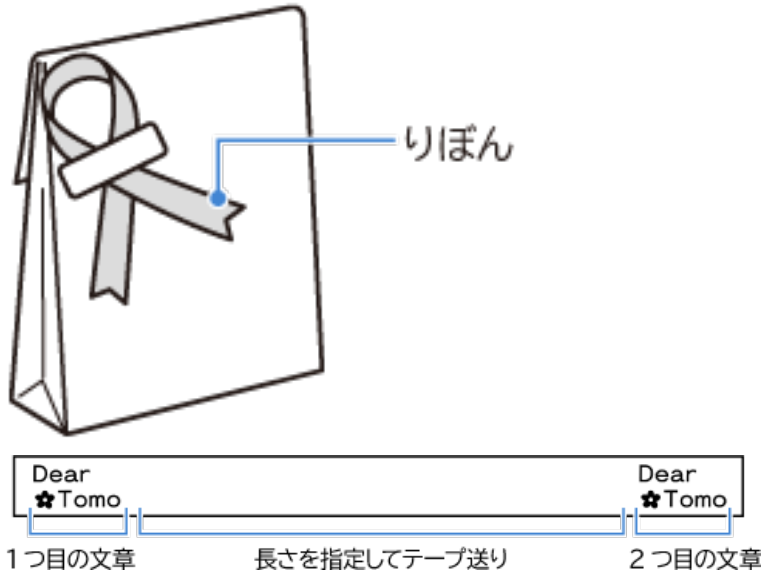
注意

・りぼん連続印刷は「りぼん印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。

参考：指定した長さでテープ送りをする（送り長指定）

長さを指定してテープを空送りします。ラベルの前や後ろに余白が必要なときや複数文章の印刷で途中に空白を入れたいときに利用してください。

例：りぼんを使ったラッピングなどに



1 1つ目の文章を入力して、 印刷 を押す

注意

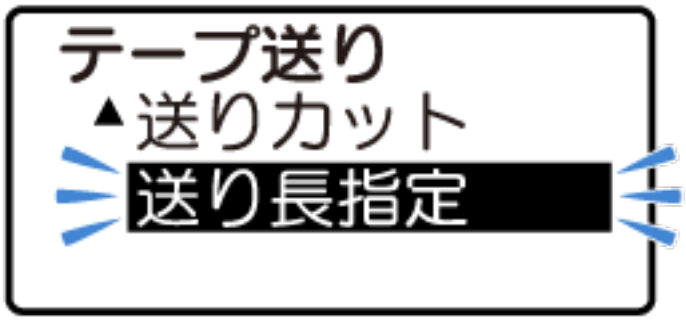
・文章の後ろに「送り長指定」で余白を入れる場合は、あらかじめ「カット設定」で自動カットしないに設定してください。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

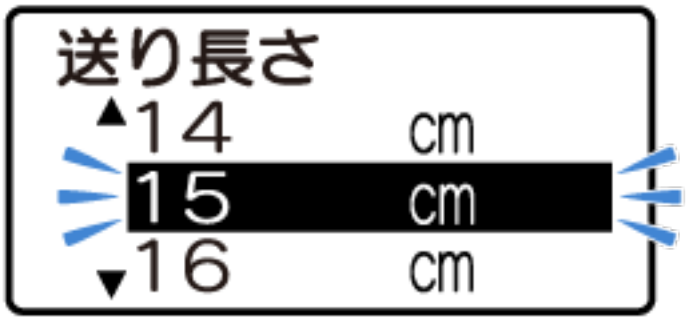
2 シフト を押しながら 印刷 (＝テープ送り)を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

3 ▲ ▼ で「送り長指定」を選び、 選択 改行 を押す



4 ▲ ▼ で送る長さを指定する



2.0cm～99cmの範囲で指定できます。

長さは数字ボタンでも指定できます。

5 選択 改行 を押す

指定した長さでテープ送りします。

続けて2つ目の文章を入力して、印刷します。

MEMO

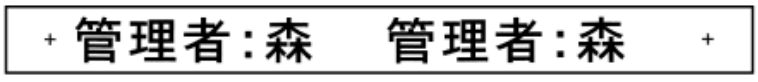
・「送り長さ」は一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 を押します。

・「カット設定」の設定にかかわらず、「送り長指定」では 5 のテープ送り後に自動カットはおこなわれません。

お名前タグ印刷をする

入力した文字や記号を、お名前タグ専用のフォームで印刷します。お名前タグ印刷を使うと、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、オリジナルのお名前タグを作成することができます。



注意

・お名前タグ印刷は、「テプラ」PROテープカートリッジ りぼん専用の印刷機能です。
・「お名前タグ」の作成には、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」が必要です。

1 「テプラ」本体に「テプラ」PROテープカートリッジ りぼんをセットする

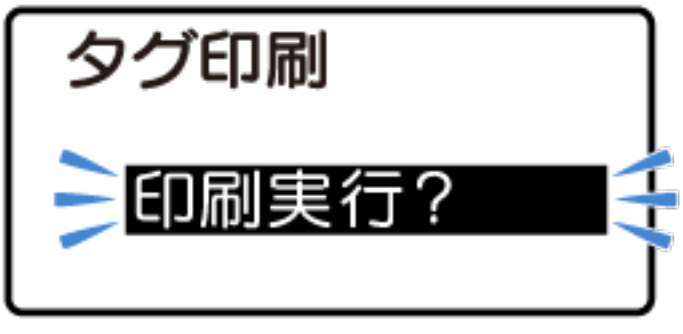
2 テキスト入力画面に名前や絵文字を入力し、 シフト を押しながら 特殊印刷 （＝りぼん印刷）を押す

参照 「文字を入力する」

参照 「記号（絵文字）を入力する」

3 ↑ ↓ で「お名前タグ」を選び、 選択 改行 を押す

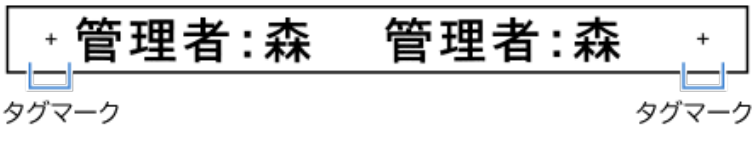
4 「印刷実行？」と表示されたら、 選択 改行 を押す



ラベルが印刷されます。

印刷結果には、りぼんの前と後ろにタグマーク「＋」が印刷され、中央にテキストが2回繰り返されて印刷されます。「お名前タグ」に適した余白が自動でつきます。

タグマーク「＋」はスナップボタンを取り付ける位置の目安となります。



5 テープカートリッジを取り出し、カートリッジ側にテープを10mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする

以降の手順は、別売の「お名前タグメーカー」（SRT10）の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

・4mm、6mm幅テープにはお名前タグ印刷はできません。

・「カット設定」の設定にかかわらず、「お名前タグ印刷」では自動カットはおこなわれません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、テキスト編集画面に戻ります。
・入力できる段落は10段落までです。
・編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。
・スナップボタンの取り付け方法など詳細につきましては、「お名前タグメーカー」(SRT10)の取扱説明書をご覧ください。

別売品「お名前タグメーカー(SRT10)」と「スナップボタン(SRTB1)」について

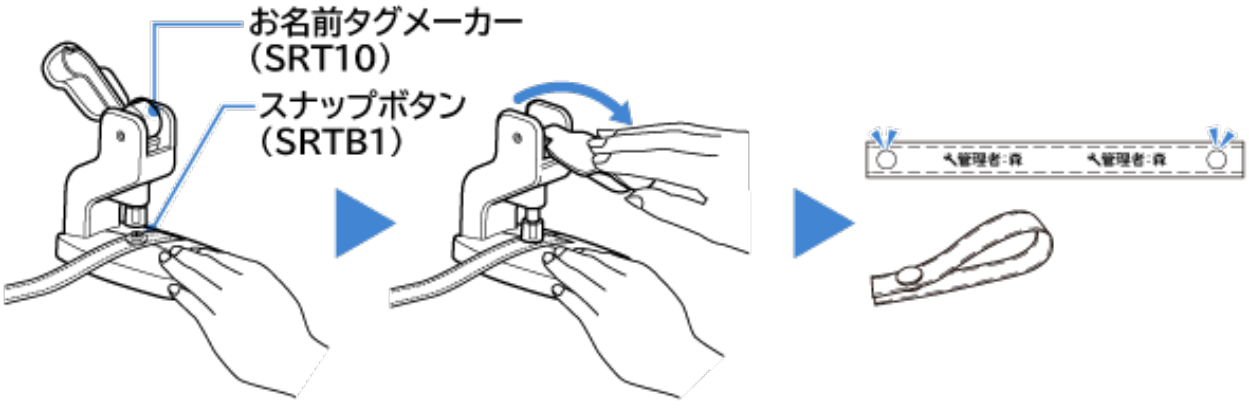
別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、お名前タグを作成します。

参照 ☞「別売品のご案内」

1 お名前タグ印刷をしたりぼんと「スナップボタン」を「お名前タグメーカー」にセット。

2 レバーを手前にしっかり押し下げて、「スナップボタン」をりぼんに取り付けます。

3 お名前タグが完成！



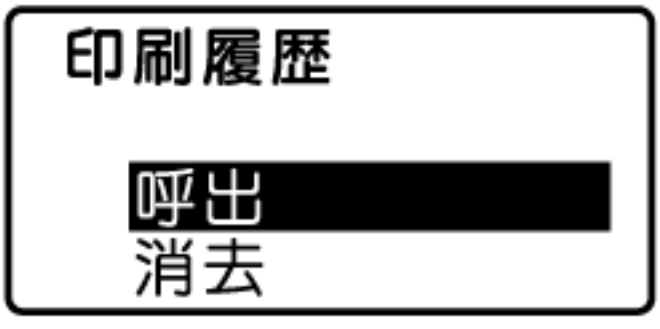
最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大10件まで記憶しており、ファイル登録をし忘れた場合でも呼び出せます。

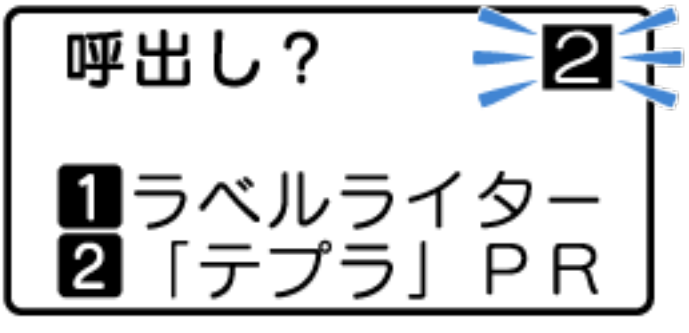
印刷履歴を呼び出す

1 シフト を押しながら フォーム （＝印刷履歴）を押す
「印刷履歴」メニューが表示されます。

2 「呼出」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で文章番号を選び、 選択 改行 を押す



4 内容を確認し、 選択 改行 を押す



文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

注意

・印刷履歴を呼び出すと、直前まで作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。

・特殊印刷やりぼん印刷、ビジネスフォームの印刷などは印刷履歴の対象になりません。
・文字数の多い文章の場合、履歴件数が10件にならないことがあります。また、QRコードを含むなど、ラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

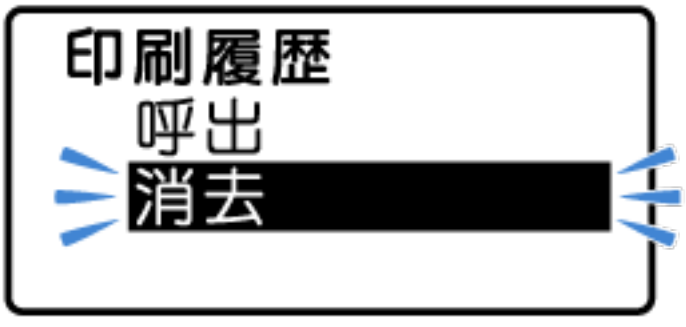
MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・文章番号は数字ボタンでも選択できます(手順 3)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト編集画面に戻ります。

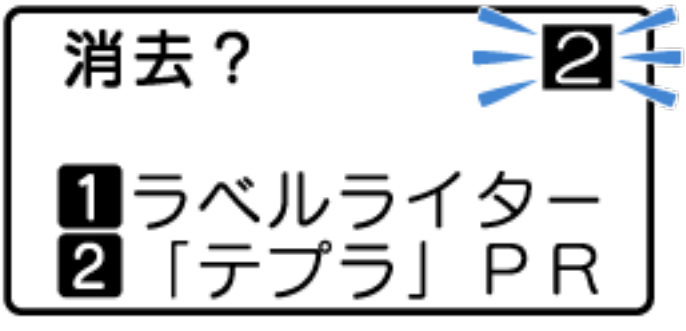
印刷履歴を消去する

1 シフト を押しながら フォーム （＝印刷履歴）を押す
「印刷履歴」メニューが表示されます。

2 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で文章番号を選び、 選択 改行 を押す



4 内容を確認し、 選択 改行 を押す



印刷履歴が消去されます。

注意

・消去した印刷履歴は復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・文章番号は数字ボタンでも選択できます（手順 3 ）。

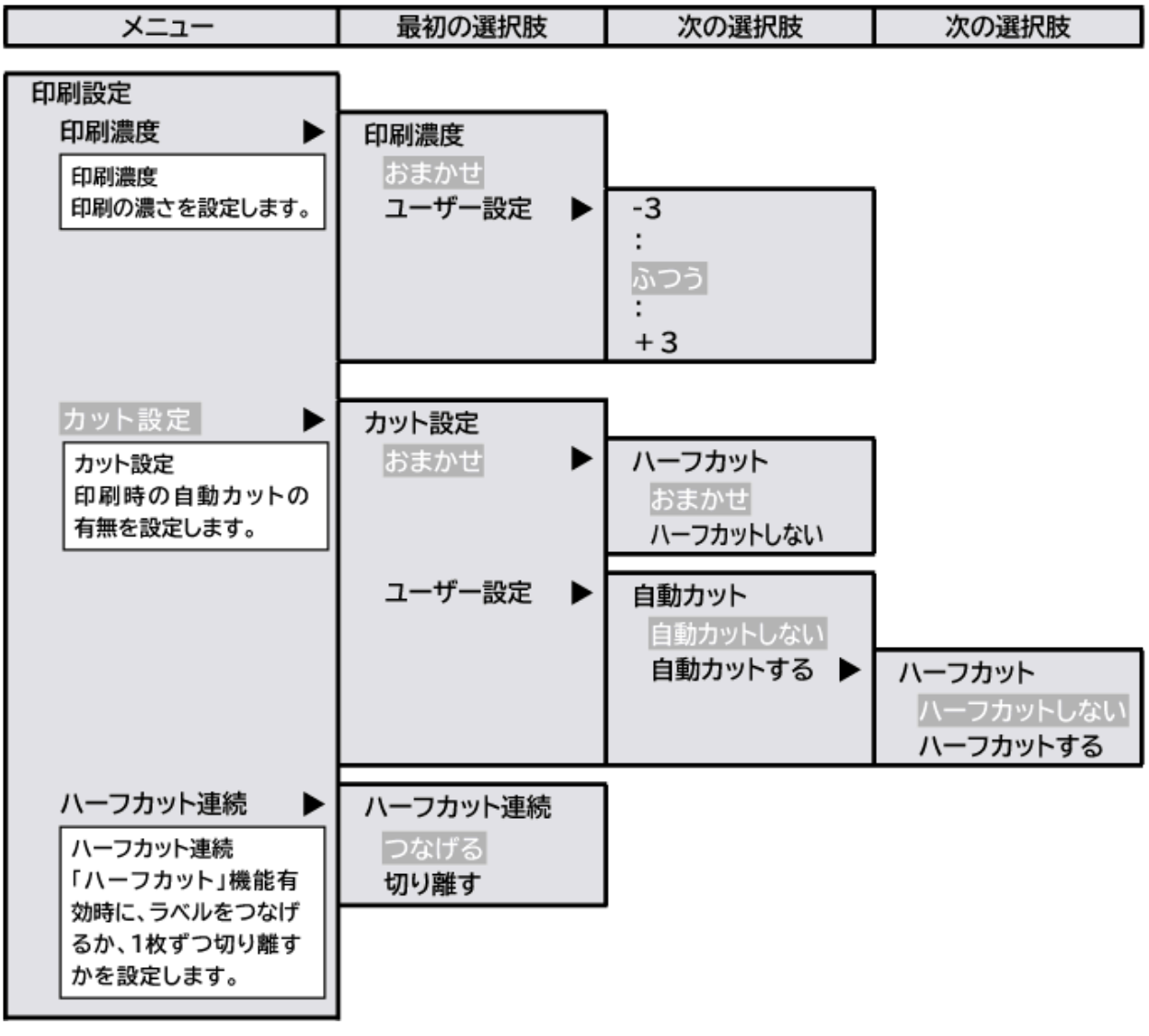
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト編集画面に戻ります。

印刷設定

印刷設定 を押すと、印刷濃度、カット設定、ハーフカット連続の設定を変更できます。

印刷設定メニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

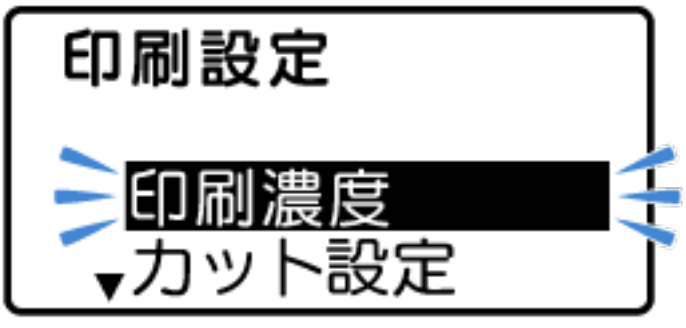


印刷濃度を調整する

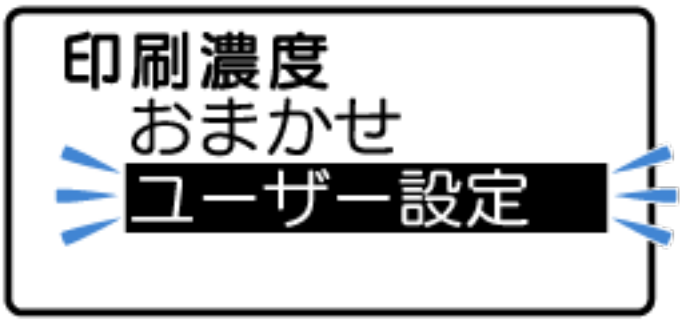
印刷濃度は「-3～ふつう～＋3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。
本機では、印刷濃度の初期設定値が「おまかせ」に設定されており、通常の印刷濃度で品質を保証できないテープについては、自動的に印刷濃度「＋3」で印刷をおこないます。

1 印刷設定 を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。

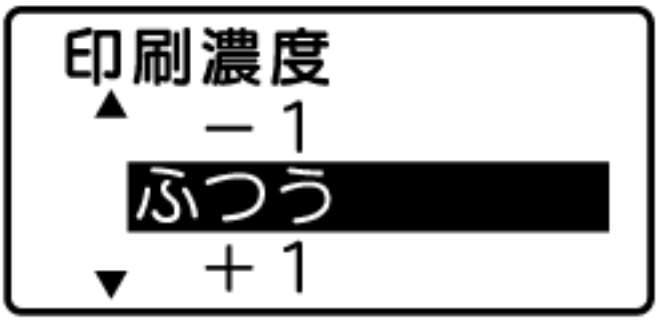
2 「印刷濃度」を選び、 選択/改行 を押す



3 ↑ ↓ で「ユーザー設定」を選び、 選択/改行 を押す



4 ↑ ↓ で数値を選び、 選択/改行 を押す



印刷濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

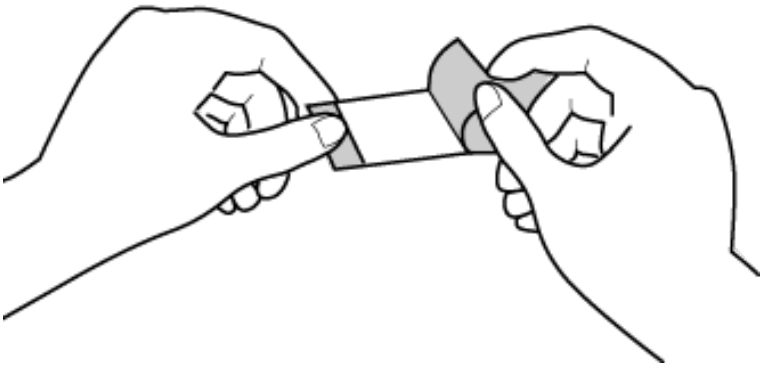
MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 印刷設定 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、テキスト編集画面に戻ります。
・本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
・印刷濃度を「おまかせ」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。

印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。
ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。



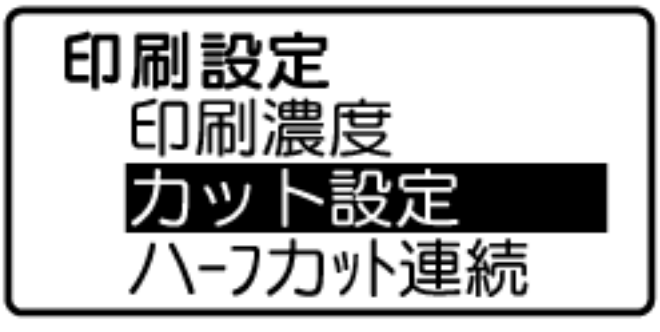
また本機では、カット設定の初期設定値が「おまかせ」に設定されており、本機のカッターでカットをすることで品質を保証できないテープについては、自動カットまたはハーフカットをおこないません。自動カットまたはハーフカットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケーターを確認してください。

参照 ☞「テキスト画面の見かた」
自動カットの設定を変更したい場合は、以下の方法で切り換えられます。

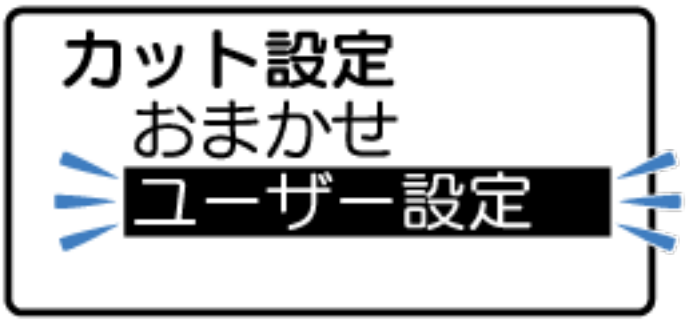
1 印刷設定 を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「カット設定」を選び、 選択/改行 を押す



3 ↑ ↓ で設定を選び、 選択/改行 を押す



「自動カット」または「ハーフカット」の設定をおこないます。

注意

・りぼん連続印刷、お名前タグ印刷、送り長指定では設定にかかわらず、自動カットはおこなわれません。
・電源を入れた直後のカット設定は「おまかせ」の設定になります。

MEMO

・カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 「アフターサービスについて」

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 印刷設定 を押し、操作を戻します。ホーム を押すとどの階層からでもテキスト画面に戻ります。

ハーフカット連続を設定する

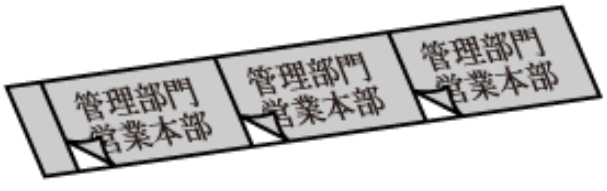
「ハーフカット」機能有効時に連続印刷をおこなうときに、ラベルをつなげるか、1枚ずつ切り離すかを設定します。

MEMO

・カット設定で「自動カットしない」または「ハーフカットしない」に設定している場合は、ハーフカット連続の設定にかかわらず、ハーフカットをおこないません。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

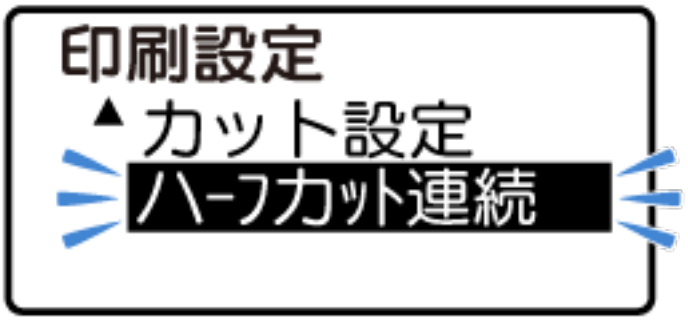
ハーフカット連続でつながったラベルを作る



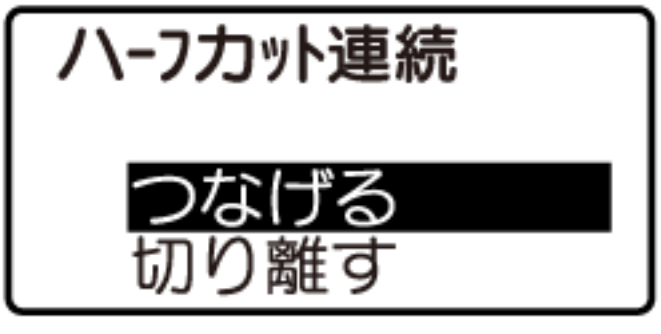
1 印刷設定 を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 ▲ ▼ で「ハーフカット連続」を選び、 選択/改行 を押す

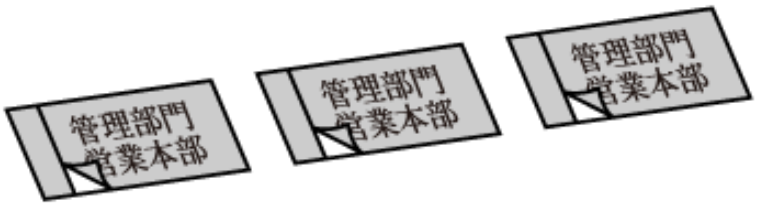


3 「つなげる」を選び、 選択/改行 を押す



ハーフカット連続で「つなげる」に設定され、テキスト画面に戻ります。

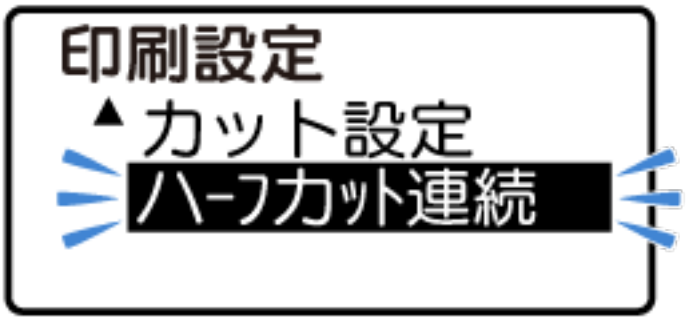
ハーフカット連続で切り離したラベルを作る



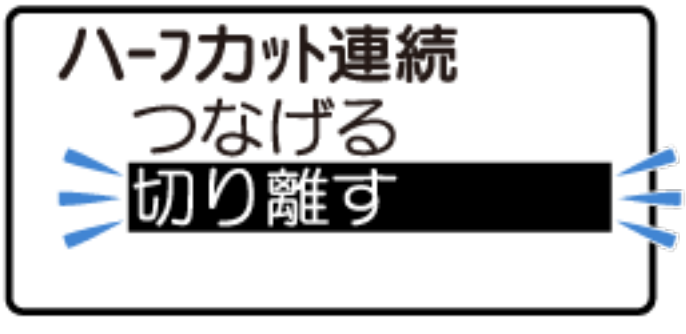
1 印刷設定 を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「ハーフカット連続」を選び、選択/改行 を押す



3 「切り離す」を選び、選択/改行 を押す



ハーフカット連続で「切り離す」に設定され、テキスト画面に戻ります。

2026年11月 第1版